



(上段) 一乗谷朝倉氏遺跡博物館 開館記念式典

(下段) 整備中の同館を視察



福いね!
いまの時代、自分からアピールしなっ!
福井市

9月

定例会

(8月29日～9月21日)

市長提出の議案26件、報告15件を
審議しました

主な議案は4～5ページ
審議結果は14～15ページ

陳情1件を審議しました

審議結果は15ページ

議員提出の議案1件を審議しました

議案は5ページ
審議結果は15ページ

委員会審査

詳細は5～6ページ

議員20人が一般質問を行いました

詳細は7～11ページ

予算特別委員会審査

詳細は12～13ページ

特集記事

常任委員会の市内視察を
実施しました

2～3ページ

↑ 一乗谷朝倉氏遺跡博物館が開館

福井市が誇る一乗谷朝倉氏遺跡の魅力発信する「福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館」が10月1日に開館しました。

福井市議会では、7月1日に整備中の同館を視察訪問し、北陸新幹線福井駅開業に向け、県内外へPRできる観光の新名所を調査しました。

特集

常任委員会市内視察報告

総務委員会

日程：令和4年7月19日（火）
視察先：くにみクラゲ公民館
殿下福祉センターかじか苑

総務委員会では、7月19日にくにみクラゲ公民館と殿下福祉センターかじか苑を視察しました。

くにみクラゲ公民館は、旧国見公民館の建物等を利用して開設したクラゲの水族館で、国見地区の地域おこし子どもたちに夢を与える事業に奮闘されておりました。

クラゲの展示だけでなく、魚介類や昆虫といった子供達が触れ合える企画も多く実施されておりますが、事業継続の課題として、クラゲ等展示物の定期的な入替はもとより、様々なワークショップの開催等、何度来ても楽しんでいただけるような企画の充実が必要であるとのことでした。

次に、年々人口が減少し、住民の多くが高齢者となりつつある、殿下地区のまちづくりを視察するため、殿下福祉センターかじか苑を訪問しました。

同地区は、早くから過疎化対策・地域おこしに力を入れている地域で、SNSを利用した住民医療体制の構築や、郷土食「葉ずし」等の販売により、同地区への移住定住の促進を行っておられました。

人口減少の歯止めと地域医療の確保に力を注ぎながら、これからの同地区の在り方を探求され、魅力ある地域を築いていただきたいと思います。



くにみクラゲ公民館

建設委員会

日程：令和4年7月20日（水）
視察先：北陸新幹線福井駅舎、福井市観光交流センター（東口拡張施設）
都市計画道路志比口開発線
新九頭竜橋（一般県道福井森田丸岡線）

建設委員会では、7月20日に北陸新幹線福井駅舎、福井市観光交流センター（東口拡張施設）、都市計画道路志比口開発線、新九頭竜橋（一般県道福井森田丸岡線）の視察を実施しました。

北陸新幹線福井駅舎での説明では、デザインコンセプトを「悠久の歴史と自然がみえる駅」とし、外観は一乗谷朝倉氏遺跡の唐門をモチーフにしたデザインを施し、コンコース部分は県産材や笏谷石、越前和紙など、福井ならではの素材が用いられているとのこと、格調の高い空間の演出がなされていました。

福井市観光交流センターでは、屋上の恐竜モニュメント設置に関する説明を受け、「家族愛」をテーマとした、フクイティタン2体が来県客を出迎えるしつらえになるようです。子を見守るように向かい合わせで設置され、2体の首がハート形に見えることから、本市の新たな記念撮影の場所としての活用が期待されています。新幹線の車窓と屋上と同じ高さで恐竜モニュメントが設置されることから、新幹線の座席次第では特別なお出迎えを受けられる方もいるのではないかと思います。



北陸新幹線福井駅舎

教育民生委員会

日程：令和4年7月29日（金）
視察先：福井市少年自然の家

教育民生委員会では、7月29日に福井市少年自然の家を視察しました。

当施設は、青少年が自然環境の中で行う集団宿泊訓練や、野外活動、自然観察などの活動を通じて豊かな情操や社会性を養い、心身ともに健やかに育つことを目的として設置されており、令和3年4月からは指定管理者制度を導入して、「ナイガイ・越前健康開発グループ」が管理運営を行っています。

今夏は、新たに芝生公園やツリーデッキを設置した「わくわく CAMP FIELD」を整備し、魚のつかみ捕りやまき割り、木工など、これまでよりも充実した野外体験ができる「わくわくイベント」を実施しています。

また、キャッシュレス決済の導入やコイン式洗濯機、コピー機の設置、「わくわく文庫」の開設など、施設利用者の利便性向上のための取組が行われています。

さらに、地元の東郷地区と連携した「福井市少年自然の家開所周年記念式典・イベント」の実施や、JR越美北線利用促進イベントへのブース設置など、近隣地域や各種団体との連携を促進しています。

これらにより、施設の魅力はますます高まってきており、多くの市民の方に利用していただきたいと思っています。



福井市少年自然の家

経済企業委員会

日程：令和4年7月15日（金）
視察先：大規模園芸ハウス

経済企業委員会では、佐野町にあるキュウリの大規模園芸ハウスを視察しました。

9連棟の鉄骨ハウスの面積は50㍍あり、栽培株数は最大1万8千本で、年間収量200㍍を目指しています。ハウスの温湿度は、冷暖房装置と環境制御装置で自動的に管理されており、7月半ばのハウスの中は暑いと思いきや、涼しく快適な空間となっていました。害虫を防ぐための防除作業も、専用の機械が自動で行っていました。また、土を使わずに、肥料を水に溶かした液（培養液）を用いる画期的な栽培方法である「養液栽培」を取り入れることで周年栽培が可能になり、既存の栽培で収穫できる量の約3倍の収穫が可能になります。

高齢化などにより、栽培面積や収量が減少傾向にあったキュウリ生産でしたが、生産者の所得向上、魅力ある農業をこの佐野町から発信し、農業の担い手不足、後継者不足の解消に一役を買っていただきたいと思っています。



大規模園芸ハウス

特別委員会の委員を選任しました

委員会名	委員名					○委員長	○副委員長
予算	○池上 優徳	○片矢 修一	加藤 貞信	皆川 信正	石丸 浜夫		
	堀川 秀樹	野嶋 祐記	今村 辰和	下畑 健二	玉村 正人		
	藤田 諭	水島 秀晃	津田かおり	寺島 恭也	山田 文葉		
	調査項目 各会計当初予算、補正予算の審査及び市政上の重要案件						
決算	○今村 辰和	○玉村 正人	奥島 光晴	鈴木 正樹	泉 和弥		
	菅生 敬一	池上 優徳	榊原 光賀	酒井 良樹	岩佐 武彦		
	調査項目 各会計決算等の審査						

主な議案

9月定例会

令和4年度補正予算

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、14～15ページに掲載しています。

今回の補正予算は、一般会計で19億3,755万6千円を増額するものです。また、特別会計では競輪特別会計で7,327万1千円を増額するものです。

各会計の補正後の予算額は、一般会計で1,275億3,905万8千円、特別会計で723億6,777万1千円、企業会計で299億5,800万円となり、全会計で2,298億6,482万9千円となります。

○一般会計補正予算

〈新型コロナウイルス感染症対応に関する事業〉

新型コロナウイルス感染症の対応に関する次の4項目の事業に、13億1,320万7千円を計上するものです。

(1) 感染拡大防止の強化

妊産婦や乳幼児を対象に実施する健診業務や教室等において、会場の分散化等の感染

症対策を実施することで、新型コロナウイルス感染症の感染防止対応の徹底を図る『母子保健感染症対策事業』などを行うものです。

(2) 原油価格・物価高騰への対応

新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に大きな影響が生じている地域鉄道事業者に対し、安定運行を継続するための経費及び利用促進に向けた取組を、県及び沿線市町と協力して支援する『地域鉄道特別支援事業』、同感染症及び原油価格高騰の影響により経営に大きな影響が生じているバス事業者に対し、安定運行を継続するための支援を行う『バス事業者特別支援事業』、同感染症による影響が長期化する中、原油価格高騰をふまえ、生活困窮者の光熱費の経済的負担の軽減を図るために、光熱費を助成する『生活困窮者等物価高騰対策光熱費助成事業』、食料料費が高騰する中において、保護者の給食費負担の増加を防止、従来通りの栄養バランス

や量を維持した給食提供を継続するため、私立園に対して食料料費高騰分を補助する『保育所等給食材料費高騰対策事業』、経済活動のインフラとしての役割を果たしているトラック事業者の今後の燃料費負担を軽減するとともに、二酸化炭素排出量の削減を図るため、低燃費タイヤの購入に要する経費を補助する『トラック事業者運行継続支援事業』、同感染症による影響が長引く中、子育て世帯を対象とした福井県産新米の購入支援を行うことで、物価高騰による家計負担の軽減を図るとともに、家庭における米への興味関心を育む機会を提供し、米の消費拡大につなげる『福井県産新米応援キャンペーン事業』などを行うものです。

(3) 地域経済への支援

北陸新幹線福井開業を見据え、アフターコロナにおける観光誘客・関係人口の拡大等を目指し、北陸新幹線沿線都市への出向PR、ワイズキャンペーンにより、福井の認知度向上やイメージアップを図る『福いいネ！くんで福井の魅力発信大作戦』などを行うものです。

(4) 新しい生活様式への対応

ウイズコロナにおける中心市街地のにぎわい創出を図るため、公共空間等を活用したイベントや公共施設の新型コロナウイルス感染症対策等を行う『ウイズコロナにおける中心市街地にぎわい対策事業』、新型コロナウイルス感染症の流行により、保護者との関係が制限される中、感染拡大リスクの軽減を図るとともに、保護者の利便性向上や職員の負担軽減のためのシステム等を導入する『公立保育所等DX推進事業』などを行うものです。

〈各種施策を推進するための取組〉

まちなかの魅力向上に寄与する店舗等のリノベーション事業に対し、県と連携して支援する『県都まちなか再生事業』、令和5年1月より、福井銀行・福邦銀行グループが設立した観光地域商社「ふくいヒトモノデザイン株式会社」の物販部門に「福井市特産品販売部門」を位置付け、福井市と福井銀行・福邦銀行グループ双方の役割を生かしながら、共同運営体制で新たな販路開拓に取り組む『福井市地域商社運営事業』、令和5年度から運用を開始する障

害福祉関係ターターベース構築および令和4年10月1日からの臨時の報酬改定に対応するため、障がい福祉システムの改修を行う『障がい福祉シテム改修事業』などを行うものです。

〈国・県の補助金等に伴う事業〉

新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、物価高騰によって生じる生活困窮者の増加に対応するため、食料や日用生活用品の物資支援等を、NPO団体等を通じて行う『生活困窮者物資等支援事業』、福井産食材を使用した学校給食を実施するとともに、それらを教材とした食に関する学習活動を通して、食育を推進する『福井産給食推進事業』などを行うものです。

条例

○福井市職員の定年等に関する条例等の一部改正等について

地方公務員法の一部改正に伴う福井市職員の定年の引上げ等に関し、福井市職員の定年等に関する条例等の関係条例を整備するものです。

※職員の定年引上げの概要

- ・令和5年度以降、定年を段階的に引上げ
- ・管理監督職勤務上限年齢性の導入
- ・給料月額は、当分の間、60歳前の70%
- ・退職手当は、60歳前と後の期間それぞれに算定
- ・60歳以降の多様な働き方に対応するため、一旦退職した上で再任用短時間職に就くことも可能

人事案件

○教育委員会委員

本年9月30日をもって任期満了となる委員の後任として、栗原知子氏を選任することに同意しました。

○公平委員会委員

本年9月30日をもって任期満了となる金井亨氏を引き継

ぎ委員として選任することに同意しました。

○人権擁護委員

令和4年12月31日任期満了となる委員2名の後任として、森本則雄氏、高嶋和子氏を、欠員となっていた委員の後任として蒔田美根子氏を、新たに委員候補者に推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

市会案（議員提出議案）

〈意見書の提出〉

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を内閣総理大臣ほか、関係機関に提出しました。

○地方財政の充実・強化に関する意見書

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。
(※委員会終了順に掲載)

福井の魅力発信 対策特別委員会



〈新幹線プロモーションの現状について〉

問 著名人の方々が参加した動画のYouTube配信

答 動画の作成に加え、ノベルティの制作や配信、広告料などを合わせた全体の金

額で、令和3年度が2,953万円、今年度が3,370万円となっている。また、動画は5本作成しており、合計の再生回数は8月10日時点で1万6,277回である。

意見 予算は合計すると6,000万円を超えており、かなりの費用がかかっているが、再生回数は1本当たり3,000回余りと、お金をかけた割にこの再生回数では少しもったいない気がする。北陸新幹線福井開業までもっと視聴してもらえよう、ありとあらゆることを考えて積極的に活用してほしい。

総務委員会

〈福井市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について〉

問 現行制度下において、男性職員の育児休業対象者のうち、何%が育児休業を利用しているのか。また、取得期間は平均してどのくらいの日数となっているのか。

答 昨年度は50人の男性職員が対象となっており、そのうち実際に取得したのは9人、割合にして18%であった。また、取得期間については、

平均値は算出していないが、全員が6か月未満となっている。今年度は、2か月間取得する例もあるなど、徐々に取得期間が長くなってきていると感じている。

要望 女性が育児を取得する場合は、代替職員を臨時採用するなどして対応することになるのだから、男性の場合には周りの職員でフォローしなければならぬケースが多いため、業務が円滑に回せるよう管理職がしっかりとサポートするなど、男性も育児を取得しやすい体制を整えてほしい。

〈財産の取得について（CD—I型消防ポンプ自動車、高規格救急車）〉

問 落札率が非常に高いことと、また1者や2者しか応札がなかったということ、競争があまり働いていないように感じる。広く入札に参加してもらえような手立てを検討していかねければならないと考えるがどうか。

答 自動車については、半導体不足などの影響もあり価格が高騰し、業者として安く仕入れることが難しい状況

が続いている。また、ベースとなる車両は多くの販売店で取り扱われているが、それを特殊車両として改造できる事業者が非常に限られているという点もあり、どうしても落札率が高くなってしまおうという事情がある。

建設委員会



《県都まちなか再生事業について》

問 これまでも中心市街地に對しては継続的にいろいろな事業を行ってきたが、人口は減少しており、駅前商業者はみんな郊外のショッピングセンターに店を出し、元の店舗はほとんどが他に賃貸しているような状態となっている。今回、県と市が5年間税金を投入することによる固定資産税の税収や、民間の売り上げ効果などの見通しについて、試算は行っているのか。

答 具体的な積算は行っていないが、全体的な投資効果はある。

問 支援対象エリアを中央1丁目と中央3丁目としているが、このエリア設定はどのような考えのもと行なったのか。

答 中央1丁目は、本市の中心市街地の中でも一番重要な場所と位置づけられている。現在、再開発事業が行われている街区以外の物件に対する景観的な支援や、コロナ禍や経済高騰の影響で進まない店舗の集積やリニューアルへの支援を目的としている。中央3

丁目は、おもてなし空間として飲食を中心とした店舗の集積を考慮しており、新幹線開業を見据えた新たな店舗の出店を期待してエリア設定をしている。

問 駅前全体のにぎわいとて、大手地区や順化地区へのエリア拡大は考えているのか。

答 対象エリア以外の事業者からも相談を受けており、また、県都にぎわい創生協議会の中でも対象エリア拡大の意見が出ている。こういったニーズがあることや新幹線開業効果をまちなかで最大限に受け止めるといった観点から、また、まちなかの魅力向上に資するということから、今後、県や商工会議所などと協議していきたい。

経済企業委員会



《恐竜ホテル改修支援事業について》

問 事業の詳細及びこれまでの市内での改修件数は。

答 北陸新幹線福井開業に向け、宿泊施設の客室や共有スペースを恐竜仕様に改修する希望がある事業者に対してその改修費用の一部を補助するものであり、これまでの改修件数は3件である。

問 恐竜仕様の部屋に対する宿泊客のニーズはあるのか。

答 各事業者はニーズがあるものと捉えており、自己負担を伴いながらも施設の改修に取り組んでいる。旅行ニーズは未だコロナ前の水準には戻ってきていないが、本市としても今後そういったニーズが増えてくるものと考えている。

《トラック事業者運行継続支援事業について》

問 低燃費タイヤの購入経費への補助ではなく、トラック事業者自体に支援するほう

が的確ではないか。

答 原油価格が高騰する中、トラックの低燃費タイヤへの入替を促進することで、燃費が改善するとともに、原油そのものの使用を減らす効果もあると考えることから、低燃費タイヤの購入経費への補助としていきたい。

教育民生委員会



《公立保育所等DX推進事業について》

問 タブレット端末の整備の規模と導入効果は。

答 園の規模にもよるが、タブレットは2クラスにつき1台ずつと、主に職員室で使う1台の合計93台を配備し、これに加え、無線LANを整備する予定である。また、システム導入により、二次元コードなどによる登降園時間の入力や、スマートフォン等からの欠席連絡が可能となる。また、各園に配備されるタブレットのうちの1台は、園の外でも使用できるものとし、災害等の際に、園外の避難所に避難した場合でも、その場所から保護者に状況等を伝えることができるようになるな

ど、利便性の向上が図られる。

問 保育士等の負担軽減につながる機能はあるのか。

答 連絡帳機能など、これまで手書きの記録であったものをデジタル化することにより、負担軽減が図られると考えている。

《福井市立図書館リニューアルに係る工事請負契約の締結について》

問 環境に配慮した省エネ効果の高いZEB Readyが市内の公共施設で初めて導入されることとなるが、このことにより建築単価はどの程度上がる見込みなのか。

答 工事請負費の中で照明及び換気、また空調設備で約4,130万円の増を見込んでいる。一方、光熱費等の削減額は年間で約533万円と想定しており、耐用年数を15年とすると、差引き約3,872万円が節約される見込みである。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質すため、9月5日から7日までの3日間、20人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

<p>① 皆川 信正 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> アリーナ構想について 新文化会館について 雨水対策について 来年度に向けた組織体制について 	<p>⑨ 片矢 修一 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 県都にぎわい創生協議会について 福井フェニックスまつりについて 	<p>⑮ 中村 綾菜 (無所属)</p> <ol style="list-style-type: none"> 福井市版スマートシティ構想の実現に向けて 持続可能な農業の推進について 部活動の地域移行と地域におけるスポーツの推進について パートナーシップ制度と性的マイノリティーへの理解促進について
<p>② 田中 義乃 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> コロナ禍での高齢者、子育て支援について 経済・雇用状況について おいでよ!福井駅恐竜プロジェクトについて 	<p>⑩ 山田 文葉 (日本共産党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症への対応について 介護施設への支援について 生活困窮者への対応の連携について みのり地区のフェニックス通りの拡幅について 雨水対策について 安倍元総理大臣の国葬問題について 	<p>⑯ 伊藤 洋一 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和4年7月、8月の大雨について
<p>③ 水島 秀晃 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 豪雨等災害への対策について アリーナ構想について 	<p>⑪ 近藤 實 (無所属)</p>	<p>⑰ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 多様な就労の機会を創出するとともに持続可能で活力ある地域社会に資する事を目的とする労働者協同組合法が施行される10月1日に向けて福井市に求める市民からの声について 令和3年9月定例会で質問した福井フェニックススタジアムの施設の管理運営の不備と老朽化についてに対する答弁どおりに業者が業務を遂行していない事の問題や業者の資質及び担当部局の責任について
<p>④ 酒井 良樹 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 大雨対策について 移住定住政策について 市民サービスの向上について 	<ol style="list-style-type: none"> 令和3年度の財政調整基金、公共施設基金、実質収支(黒字額) 福井市の経済活性化のために 企業誘致、国の施設・機関の誘致 施設の民間譲渡 道路舗装、側溝改修予算の増額要求 下水道事業会計への一般会計繰入金は適切な予算要求を! 27,500万円(農業排水)の返還金は、令和5年度予算に計上を! 福井市として目指すべき人件費 専決処分について 	<p>⑱ 津田 かおり (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 県都グランドデザイン(案)について 教員の働き方改革と資質向上について 災害時の避難支援について グリーンケアについて
<p>⑤ 野嶋 祐記 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 県都グランドデザイン(案)について 新幹線福井駅整備について 企業誘致について 	<p>⑫ 岩佐 武彦 (一真会)</p>	<p>⑲ 神原 光賀 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 本市の災害対応について 原油価格・物価高騰への対応について 生活困窮者物資等支援事業について
<p>⑥ 下畑 健二 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> アリーナ構想について 水害対策について マイナンバーカードの普及促進について 	<ol style="list-style-type: none"> 学校教育について 新幹線福井開業に向けた取組について 本市における農業の課題について 	<p>⑳ 菅生 敬一 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 第26回参議院議員選挙について 市職員・教員のメンタルヘルスケアについて 損害保険会社との協定について 県都グランドデザイン(案)について
<p>⑦ 寺島 恭也 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 今年度の地方交付税について 公共事業予算の使い残しについて 納税組合制度について 今年度の小学校のプール学習の取組と今後について 	<p>⑬ 青木 幹雄 (一真会)</p>	
<p>⑧ 奥島 光晴 (新政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 原油価格・物価高騰に対する家計、農・商・工業への支援策について 全国学力・学習状況調査(2022年度)の結果について 福井市戦没者追悼式のあり方の一考察について 	<ol style="list-style-type: none"> まちづくりについて 	
	<p>⑭ 鈴木 正樹 (日本共産党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大と医療体制のひっ迫について アリーナ構想について 旧統一教会と政治の問題について ブラック校則について 	

← 各議員の一般質問要旨は、8ページから11ページに掲載しています。

一般質問要旨



みながわ のぶまさ

皆川 信正 議員

一真会

雨水対策について

質問

7月3日からの数回のゲリラ豪雨では、対策が後手に回り、道路冠水が多発した。豊地区の道路にある12,700トンの貯水ができる地下タンクや、公民館横の2,000トンの貯水ができるため池、月見5丁目へ出動するポンプ車などは、どれだけ役に立ったのか。今回の実績と今後の対策を伺う。

回答

月見のり雨水貯留管の稼働状況については、急激に増加した雨水が貯留管へ流入し、55分後には満管の貯留量に達したことを確認している。

豊公民館横の調整池については、大雨により既設水路の水位が上昇すると流入する構造となっており、当日も計画量を確認していたことを確認している。排水ポンプ車については、短時間に発生した大雨に対して対応が遅れたことから、以後、気象庁の早期注意情報に加え、雨雲レーダーやウェブカメラによる水位状況を職員自らが確認し、より早く業者待機を行うこととした。来年出水期からの自動運転を目標に、現在と同じ規模の排水ポンプを既設マンホール内へ常設化する準備を進めている。



たなか よしのり

田中 義乃 議員

新政会

コロナ禍での子育て支援について

質問

コロナによって結婚・出産数が減少している。失業や経済不安におびえる若者や女性が能力を発揮し活躍できる人材活用策や、安心して仕事と子育てを両立できる環境を整えることが肝要である。加速化する人口減少に対し、子育て世代への支援の拡充について伺う。

回答

本市では、これまで子育て世代のニーズが高い経済的負担の軽減や保育園等の受皿整備を重点的に進めてきた。

経済的負担の軽減については、本年4月から子ども医療費助成の対象を本市独自に高校3年生相当まで拡充するとともに、9月からは保育園や病児保育施設等における無償化対象世帯の拡充や、すみずみ子育てサポート事業で一時的預かりや家事支援等を利用する多子世帯への補助の増額などを行っている。

保育園等の受皿整備では、待機児童ゼロを維持するため、私立園の施設整備への支援や保育士の確保などに取り組んでいる。



みずしま ひであき

水島 秀晃 議員

一真会

雨水対策について

質問

春山地区においては、えちぜん鉄道の線路を境として、それより以南は乾徳ポンプ場、以北は上里ポンプ場で排水されている。今後のポンプ場の改修計画はどのようになっているのか。また、ポンプ場の修繕など抜本的な原因への対策が急務と考えるが、見解は。

回答

本市のポンプ場の更新事業については、現在、加茂河原ポンプ場の更新工事を実施し、令和5年度内の供用開始を目指し、上屋の建築工事が及び機械・電気設備工事を進めている。その後、足羽ポンプ場の更新工事に着手する計画であり、現在、設計業務を行っている。これらの対策により、橋南地区のポンプ場更新が完了し、今後は橋北地区のポンプ場の更新に早急に取り組んでいく。

更新に当たり、浸水被害状況や福井市下水道内水ハザードマップの浸水シミュレーション等を基に、老朽化の状況や耐震基準への適合状況など、優先順位の高いものから計画的に整備していきたいと考えている。今後の更新には多額の費用と相当の期間が必要となるが、コスト削減と工期短縮に努め、可能な限り早期の整備に取り組んでいく。



さかい よしき

酒井 良樹 議員

市民クラブ

大雨対策について

質問

ここ数年の気候変化により、線状降水帯が毎年のように発生することが予想されるため、大雨への対策が必要だと考える。本市におけるIoTを活用した水害対策及び補正予算に計上している水防対策DX推進事業の内容について伺う。

回答

本市では、水防対策におけるDXを推進することで業務の効率化と現場対応の迅速化を図るため、水防対策DX推進事業を実施している。

本事業は、道路や河川、水路において水位計やウェブカメラ等を設置し、これらの情報を一元的に管理する水防管理システムを構築するものである。水位計やウェブカメラ等については、今年度から5年間で段階的に整備を進めていくこととしており、今年度は7月上旬の大雨で冠水した地下道や、浸水常襲地区を流れる河川または水路に水位計やウェブカメラ等を設置する。



のじま ゆうき

野嶋 祐記 議員

新政会

新幹線福井駅整備について

質問

西口駅前広場にある観光案内所と、東口に新たに整備される観光案内所の役割区分についてはどのように考えているのか。また、ふくチャリとICTを活用したシェアサイクルの運用についてはどのように考えているのか。

回答

駅東口に新設する観光案内所は、広域観光の発信拠点として県内の観光情報を一元的に発信することとは、もともと福井駅を発着とする旅行商品の提供や県内観光施設の入場チケットなどを提供できるように、県と協議を進めている。

一方、西口では市内観光地の紹介やまちなか飲食店のグルメクーポンの販売など、主にまちなかの観光等に関する情報提供を行っている。

また、レンタサイクルについては、ふくチャリの運用を令和5年2月までとし、3月からはICTを活用した24時間貸出し可能なシェアサイクルシステムを導入する。駅周辺のポート場所としては、従来の西口の観光案内所に加え、JR高架下の福井駅自転車駐車場、東口に整備する観光交流センターに設置する。

水害対策について



質問

本市では、浸水被害が頻発する地区において、公園を活用した遊水地や調整池の整備を進めているが、今回の大雨時における効果及び今後の計画や方針について伺う。

回答

本市が整備している遊水地や調整池は、大雨時に水を貯める流出抑制施設であり、底畷川遊水地や開発向田公園調整池などがある。7月、8月の大雨時には施設内への貯留を行っており、貯留状況は満水であった。

底畷川流域においては、施設整備前と比べて大雨時の浸水深や浸水件数が減少していることから、一定の効果があつたものと考えている。

現在は、底畷川流域の若草公園及び磯部川流域の森田11号公園において調整池の整備を進めており、今後これらの整備を継続するとともに、今年度被害を受けた木田地区において、公園等を活用した新たな調整池の整備など、浸水被害を軽減するための対策を実施していきたいと考える。

今年度の小学校のプール学習等の取組と今後について



質問

今年度のプール開放事業についての検証と来年度以降の事業の考え方について伺う。また、老朽化したプールの更新を行わず、民間のスイミングスクールなどを利用してプール学習を行うことについての考えを伺う。

回答

現在、市PTA連合会及び学校関係者に対し、意見交換やプール開放に関するアンケートを実施している。その結果を基に今後のプール開放の方法や暑さ対策など、来年度の実施方法を検討していきたいと考えている。

また、本市では小学校全50校のプールのうち、22基が耐用年数を超えており、更新の際には多大な経費が必要となることから、更新を行わず民間のプールを利用することは、対応策の一つであると考えている。

一方で、利用に当たった費用など様々な課題があることから、県内外の先進事例を研究し、今後のプールの在り方を検討したいと考えている。

原油価格・物価高騰に対する家計等への支援策について



質問

このコロナ禍において家計に直結する食品の値上がりは、8月は2,400品目余り、9月は6,500品目を超えるのではないかと言われている。その上、光熱費の増額となれば、さらに家計が苦しくなると思われる。市民に寄り添った切れ目のない支援策が必要と考えるが、本市の見解は。

回答

本市はこれまで、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用し、様々な事業を実施してきた。9月補正予算案では、生活困窮者の経済的負担を軽減するための生活困窮者等物価高騰対策光熱費助成事業や、家計負担の軽減と米の消費拡大を図る福いね！新米応援キャンペーン事業などを計上している。

今後、原油価格・物価高騰の長期化が懸念されることから、国県補助金をはじめあらゆる財源を活用し、引き続き市民に寄り添った新型コロナウイルス対策及び物価高騰対策を迅速に進めていく。

福井フェニックスまつりについて



質問

新型コロナウイルス感染症が収束しない中、開催する運びとなったが、実行委員会でのような議論があつたのか。また、観客数は例年より少なかったようだが、それぞれの主体行事の総括を伺う。

回答

実行委員会では、観客の密を回避する方法が課題であるとの意見がある一方、演技の発表の場を確保したいなど、開催を望む意見が多くあつた。最終的には、日程、会場を分散することや内容を一部縮小するなど感染症対策を万全に行うことで3年ぶりの開催を決定した。

各主体行事に対する総括としては、新型コロナウイルス感染者数が高止まりする中での開催となり、参加チーム及び観客の減少につながつたものと考えている。しかし、市民の方が楽しみにされている花火を開催できたこと、YOSAKOIやマーチングに取り組み参加者が大きな舞台で演技を披露できたことは、来年度以降のまつりの継続のため非常に有意義であつたと考えている。

介護の現場にコロナ臨時交付金を活用し助成を



質問

コロナ禍の下、介護の現場でも原油価格や物価の高騰は影響を及ぼし、入浴サービスのため大量のお湯を沸かす燃料代や、エアコンに係る費用も上がっている。光熱費が前年比230万円もアップした施設や、感染対策で窓を開けず、エアコン稼働させ、費用が前年比1.5倍となった施設もある。コロナ対策で増加している光熱費や感染防止の経費は、新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し助成すべきと考えるが、本市の見解は。

回答

国では、コロナ発生に起因する職員の割増賃金等や衛生用品の購入費用を支援する事業を実施しており、本市でも臨時交付金を活用し、施設へフェースシールドなどの配布を行っている。また、本市の9月補正予算案に低所得の高齢者や子育て世代などの世帯に対して光熱費を助成する予算を計上した。

介護施設は入所者が複数の自治体にまたがる広域的な施設であることから、本市単独での対応は難しい面があるため、今後も国や県の動向をしっかりと注視していく。



道路舗装、側溝改修予算の増額要求（7億円から14億円に）

質問

地元の皆様から受ける要望が一番多いものが、道路のアスファルト舗装と側溝の補修である。今年要望を受けたアスファルト舗装補修工事10か所のうち、現在補修の予定があるのは2か所のみで、後は来年度以降とのことである。また、側溝補修については、一か所の補修に7年から8年ほどかかる場所もある。令和5年度の予算要求では、道路舗装事業予算を10億円、道路側溝改修事業予算を4億円と、それぞれ今年度比2倍となるよう増額要求をして頂きたい。

回答

道路課では、道路舗装及び道路側溝改修のほか、橋梁補修、歩道整備、道路改築、道路災害復旧など多様な事業を行っている。令和5年度においても、バランスを見て必要な予算を要求するため、道路舗装や道路側溝改修だけ突出した予算要求は考えていない。



部活動の地域移行について

質問

教員の働き方改革を踏まえ、休日の部活動の指導を民間団体に委ねる、いわゆる地域移行について、本市においては剣道部をモデル部活動として選定し、市剣道連盟に委託することになった。具体的にはどのような方法で取り組んでいくのか。

回答

休日の運動部活動の地域移行を考えるため、中学校長会や中学校体育連盟、PTAの代表、有識者等で構成する研究評価委員会を設立し、7月13日の第1回目の会議で、モデル部活動や委託する団体の選定のほか、今後の進め方や計画などについて話し合った。モデル部活動の剣道は、本格的な活動の実施に向けて準備を進めており、9月末までに学校や保護者に対して説明や事前の見学会等を行い、10月から本格的に活動をスタートする予定である。その次のステップとして、生徒をはじめ保護者、学校、スポーツ団体等へのアンケートや課題の洗い出しなどを予定しており、そこで見えてくる課題の解決策や地域移行の進め方をさらに研究していきたいと考えている。



集住(コンパクトシティ)について

質問

持続可能なまちづくりの観点から、集まって住まう、いわゆる集住についてどのように考えるか。

回答

本市においても他の地方都市と同様に、人口減少に歯止めがかからず、都市を取り巻く環境は厳しさを増している。このような背景を踏まえ、平成22年3月に都市計画マスタープランを改訂し、暮らしの豊かさを実感できる歩きとなるまちを都市づくりの理念に掲げ、公共交通機関との連携を見据えた環境負荷の少ない集約型都市構造への転換を目指している。

さらに、立地適正化計画において平成29年3月に都市機能誘導区域を、平成31年3月には居住誘導区域を設定し、居住に必要な都市機能の適正な誘導を図ること、人口減少の中でも一定の人口密度を維持しながらコンパクトなまちづくりと公共交通の確保を図り、持続可能な都市づくりを目指している。これらの計画を踏まえ、市の中心部は、土地の高度利用を図りながら生活しやすい市街地の形成、郊外部は、田園や自然景観の維持・保全を図るとともに快適でゆとりある居住環境の形成に取り組んでいる。



旧統一協会との関りを断ち切るべき

質問

家庭教育支援条例の制定に全国的に旧統一協会が関わっているとの報道がある。県に廃案を求めるべきだ。また、福井市でも旧統一協会の関連団体などの取組に共催、後援、補助していたことはあるのか。今後はどう対応していくのか。

回答

家庭教育支援条例制定に関して、県の担当課に確認したところ、旧統一協会との関りはないとのことであった。また、本市の平成30年度以降の共催、後援等の調査を行ったところ、名義後援したもののが今年度1件あった。この後援についてはその趣旨を勘案し、後援承認基準に基づき審査して適当と判断したものである。共催、後援等については、主催者や事業内容が市の施策の普及向上に寄与するかどうかを踏まえて、公益性、宗教及び政治活動との関わり、非営利目的であるかなど、1つ1つの事案について総合的に考慮しながらより慎重に適否の判断を行っている。



パートナーシップ制度と性的マイノリティーへの理解促進について

質問

本市もパートナーシップ制度の導入について検討を進めてはどうか。

回答

パートナーシップ制度とは自治体が性的マイノリティーのカップルをパートナーとして認め、証明書を発行する制度である。導入自治体では、要綱等を定めて制度化しており、申請者から提出されるパートナーシップ宣誓書に基づき、その内容を確認し、受領証等を発行している。これにより、市営住宅への入居や市民病院での手続きなどにおいて、当該パートナーを家族として扱うこととしている。全国的に制度を導入する自治体が増えてきており、県内においては既に越前市が導入を決定し、県やその他の自治体でも制度導入が研究、検討されていると伺っている。本市においても、県などの動きを見ながら、制度導入について検討していく。



令和4年7月、8月の大雨について

質問

7月と8月は大雨警報が頻繁に発令され、様々な被害が発生したが、その対応は。

回答

大雨により被害を受けた道路、河川、水路は、既に応急復旧を終えており、今後、被害施設の本復旧を早急に行っていく。農業施設については、農道や水路の土砂による埋没、閉塞など、営農に支障を来す被災箇所は、早急に土砂撤去を行い、機能回復に向けて対応しているところである。また、1か所当たりの被害規模が国庫補助事業採択の要件を満たすものについては、今後、国の災害査定により、復旧内容及び復旧事業費が確定後、災害復旧工事を実施する。国庫補助対象外の被災箇所については、施工の範囲や手法などを地元と協議し、営農状況を確認しながら、農家組合等が事業主体となり復旧工事を行っていく。林道施設についても、通行に支障を来す被災箇所は、早急に土砂撤去を行い、機能回復に向けて対応しているところである。



福井フェニックススタジアムの管理について

質問

福井フェニックススタジアムの管理を巡っては、昨年9月の一般質問において、芝の管理や清掃が不十分であると指摘し、市は業者への指導や定期点検で対処するとしてもかかわらず、1年前よりも雑草が生え、プレーに支障を来すありさまであり、屋内も埃だらけで以前よりひどい状態である。改善を求める。

回答

福井フェニックススタジアムは、市民に愛されている施設であり、利用者の方々に不快な思いをさせることがないよう、現在清掃の行き届いていない箇所を中心に、最低でも1か月に1回は現場確認を行う。また、芝生の管理については、今年度から新たに専門業者に除草剤・肥料の散布、目土及び競技用芝の植付けを委託し、雑草については、除草剤を使用し、段階的に減らしていく。1年前にも話は聞いていたが、その後のフォローが弱かったことで、このようなことになってしまったことを、大変申し訳なく思っている。今後、こういうことのないよう、しっかりと対応を考えていく。



教員のわいせつ事案について

質問

県内で教員のわいせつ行為による不祥事が続いている。信頼している教員からの性暴力は、子どもたちに回復し難い一生の傷を負わせてしまう。本市では、現状をどのようにに認識し、わいせつ事案を根絶するためにどのような対策をしているのか伺う。

回答

本市では、今年度、夏季休業中の福井市教職員目的別研修において、ハラスメント研修を実施している。また、県も、全小・中学校の管理職を対象に、わいせつ事案等を含めた服務規律の徹底についての研修を行っている。加えて、研修後には、管理職が全ての教職員と面談を行っている。今後このような取組を通して、教職員一人一人の服務規律の徹底に努めていく。



原油・物価高騰におけるトラック事業者運行継続支援事業について

質問

市内に事業所を有する一般・特定貨物事業者が、市内事業所で事業の用に供する車両に使用する低燃費タイヤの購入に対する補助事業について、事業者の希望に沿った補助を行い、またできるだけ手続を簡素化してほしいと考え。本市の所見は。

回答

この手続は、事務局となる一般社団法人福井県トラック協会に対し、各事業者が申請、請求等を行ってもらうことを考えている。詳細な制度の内容については、今後検討していくことになるが、実績報告と請求の書類を一本化するなど、手続の簡素化を図るとともに、様々なメーカーの低燃費タイヤを補助対象にし、事業者が活用しやすい制度としていきたい。



市職員のメンタルヘルスケアについて

質問

現在、メンタルヘルスの不調で休業している市の職員は何人いるのか。メンタルヘルスの不調者を出さないためにどのような対策を取っているのか。万一そのような職員が出た場合、その部署に対してどのような対応を取っているのか。

回答

メンタルヘルスの不調で休業している市職員は、8月末現在で29人いる。メンタルヘルスの不調者を出さないための対策として、メンタルヘルス研修、産業医等による面談や相談などを実施し、メンタル不調の未然防止と早期発見に努めている。また、メンタルヘルスの不調が発生した場合、不調者の職場の状況について確認し、状況に応じて業務の内容や量、本人の適性などについて所属長と協議し、場合によっては産業医と連携しながら、働きやすい職場環境への改善を図っている。

予算特別委員会

各会派における
主な質疑内容を
紹介します。

一真会

皆川 信正 今村 辰和
池上 優徳 水島 秀晃
寺島 恭也



9月14日



9月15日

○アリーナ構想について

問 市長はこのアリーナ構想を前に進めていきたいと考えているのか。

答 民設民営の事業であるため、基本的には民間の事業主体からスキーム等の提示を受けることが最優先であり、それらを踏まえた上で検討することとなるが、経済波及効果など良い面があることも明らかになってきていることから、できることならば前へ進めていきたいと考えている。そのためには、本市としても認識している課題を解決すべく、整理していかねばならない。

問 市としては何が課題であると捉えているのか。

答 新文化会館の建設計画との整合性及び本市の財政状況を課題として捉えているため、構想を進める上では、この2点について特に注意を払わなければならないと考えている。

○越前海岸観光について

問 今年の夏、本市の各海水浴場にイルカが出現したことで、どのような影響や被害があったのか。また、イルカに対し市ではどのような対応を行い、さらに来年度以降の対策については何か考えているのか。

答 イルカへの警戒のため、海水浴場の入込数に影響があった。また、7月、8月の2か月間でイルカに噛まれたことによる搬送人数は10人、イルカによる被害の警察への通報人数は20人との報告を受けている。本市としては、今



YOUTUBEで
予算特別委員会の
動画を配信しています。

会派の議員氏名左側の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、各会派の動画をご覧いただけます。



問 今後のスケジュール、地元説明会及び意見集約はどのように進めていくのか。

答 ハード面の整備については現在、プロポーザル方式で選定した業者により学校施設の基本設計を進めているところであり、10月には森田、河合両地区の保護者を対象としたワークショップの開催を予定している。ワークショップでは、学習環境、敷地内の施設配置の考え方や、どのように学校と地域が連携していくのか、またそのためにはどのような環境や空間づくりが必要なのかなどについて意見を伺う予定である。さらに、実際に学校で働く教員からもヒアリングを行うなど、学校に関わる多くの方々からの意見を基本設計に反映させていきたいと考えている。その上で年内には基本設計を終え、来年9月頃までに実施設計も完了する予定である。

新政会

加藤 貞信 石丸 浜夫
野嶋 祐記 藤田 諭



9月14日



9月15日

○福井市学校規模適正化
北部地域（森田、河合）
新中学校について

市民クラブ

堀川 秀樹 玉村 正人
片矢 修一



9月14日



9月15日

○競輪事業について

問 7月9日の記念競輪「不死鳥杯」において、大雨によるバンクの浸水で準決勝全3レースが中止となった。

同様の事象が令和元年10月と令和3年7月にも発生しており、バンクの排水設備の改修を当時から指摘されていたが、このような事態を引き起こしたことは非常に大きな問題であるが、対処することはできなかったのか。

答 バンク内の側溝に泥などの堆積物が溜まり、排水能力を低下させている可能性が高いと判明したことから、側溝の清掃やバンクの融雪に使用する循環ポンプの稼働などにより排水作業を行ってきたが、排水が追いつかないという状況であった。今後の対策として、今年12月から来年2月にかけて、バンク内の芝生広場に約1,000立方メートルの雨水を一時的に貯留できる調整池を整備するとともに、下水道管明り幹線が満水状態であるとバンクへ逆流が生じる恐れがあるため、その逆流を防ぐための防止弁を設置する。さらに、来年度の早い時期には吐出能力の高い排水ポンプを購入する予定である。

公明党

下畑健二 津田かおり



9月14日



9月15日

○セーレン普拉ネットについて

問 北陸新幹線福井開業に向けて、福井駅周辺には恐竜モニュメントが整備され、恐竜が観光の目玉になるが、セーレン普拉ネットでも恐竜とのコラボはできないのか。また、そのほか様々な世代を取り込むために、どのような取組を考えているのか。

答

10月から11月にかけて、西武福井店が恐竜をテーマに開催する「ダイノデパート in 西武福井」に合わせ、ドームシアターで恐竜映像を投映するほか、ダイノデパートで使える抽選券を配布することによって、まちなかの周遊促進を図っていく。今後は新幹線開業に合わせ、新たな恐竜番組を投映するなど、セーレン普拉ネットからも恐竜王国福井を発信していきたい。また、宇宙や天文の分野にとらわれることなく、今後もe

スポーツ大会や体験会をはじめ、スポーツ競技のライブビューイング、コンサート、落語など、あらゆる世代に応じた魅力あるコンテンツを取り入れ、より多くのファンを獲得できるように努め、駅前のミュージアムとしてにぎわいを創出していきたい。

日本共産党

山田文葉



9月14日



9月15日

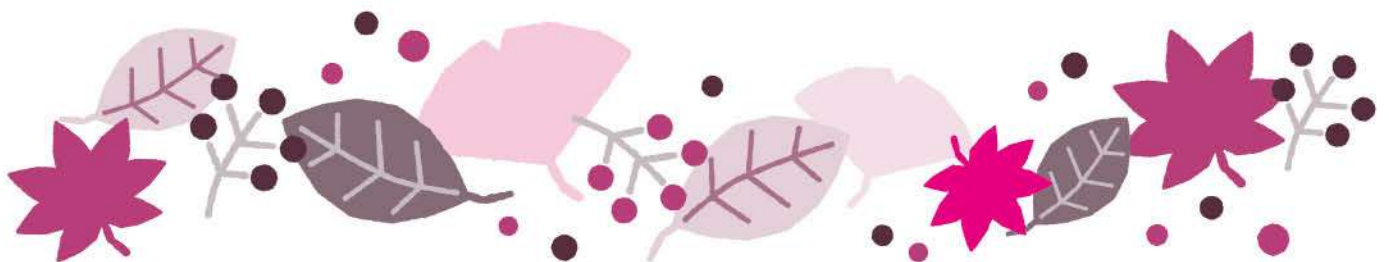
○アリーナ問題について

問 都会から離れている福井で、Bリーグの観客者数を毎試合4,000人と想定するのは、計画が甘すぎるのではないかと、県内でコアなファンになりそうな方はどれくらいいるのか。

答

福井商工会議所によると想定される観客数は新B1リーグへの参加基準を根拠としているとのことであり、

今後この基準を達成していくための取組が検討されていくものと考えている。また、県内のバスケットボール競技人口は令和3年度末現在で約3,800人であるが、令和8年度に開幕予定の新Bリーグでは、国際大会でも活躍する有望選手がプレーすることを想定しているほか、アリーナに音響、照明等の最新設備を設け、高いエンターテイメント性を実現することで、従来のファンに加え、家族連れや職場の同僚、地域住民など幅広い世代、コミュニティの方に愛され、地域に根差したチームとなることを期待している。



(9月定例会) 議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は15日に掲載)
第 39 号議案	令和4年度福井市一般会計補正予算	9月21日	原案可決	●
第 40 号議案	令和4年度福井市競輪特別会計補正予算	//	//	
第 41 号議案	福井市職員の定年等に関する条例等の一部改正等について	//	//	
第 42 号議案	福井市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	//	//	
第 43 号議案	福井市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	//	//	●
第 44 号議案	福井市手数料徴収条例の一部改正について	//	//	
第 45 号議案	福井市議会議員及び福井市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正について	//	//	
第 46 号議案	工事請負契約の締結について (福井市立図書館リニューアル工事)	//	//	●
第 47 号議案	工事請負契約の締結について (福井市立図書館リニューアル電気設備工事)	//	//	
第 48 号議案	工事請負契約の締結について (福井市立図書館リニューアル空調設備工事)	//	//	●
第 49 号議案	製造請負契約の締結について (おいでよ! 福井駅恐竜プロジェクト整備業務)	//	//	●
第 50 号議案	工事請負契約の変更について (新ごみ処理施設整備に係る調整池整備工事)	//	//	
第 51 号議案	工事請負契約の変更について (新ごみ処理施設整備に係る敷地造成工事)	//	//	
第 52 号議案	財産の取得について (CD-I型消防ポンプ自動車)	//	//	●
第 53 号議案	財産の取得について (高規格救急車)	//	//	●
第 54 号議案	財産の取得について (タブレット端末一式)	//	//	
第 55 号議案	福井市観光交流センターの指定管理者の指定について	//	//	●
第 56 号議案	市道の路線の認定について	//	//	
第 57 号議案	令和4年度福井市一般会計補正予算	//	//	
第 58 号議案	令和4年度福井市一般会計補正予算	//	//	
第 59 号議案	令和3年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	//	継続審査	
第 60 号議案	令和3年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	//	
第 61 号議案	令和3年度福井市簡易水道事業会計決算の認定について	//	//	
第 62 号議案	令和3年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	//	
第 63 号議案	教育委員会委員の任命について	//	同意	
第 64 号議案	公平委員会委員の選任について	//	//	
第 24 号報告	債権放棄の報告について	8月29日	受理	
第 25 号報告	専決処分の報告について (和解及び損害賠償額の決定について)	//	//	
第 26 号報告	専決処分の報告について (和解及び損害賠償額の決定について)	//	//	
第 27 号報告	専決処分の報告について (工事請負契約の変更について)	//	//	

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
第 28 号報告	専決処分の報告について (市営住宅の使用料等の支払請求及び明渡請求に係る訴えの提起について)	8月29日	受理	
第 29 号報告	専決処分の報告について (市営住宅の使用料等の支払請求及び明渡請求に係る訴訟の和解について)	//	//	
第 30 号報告	公益財団法人福井市ふれあい公社の令和3年度決算に関する報告について	//	//	
第 31 号報告	公益財団法人福井市ふれあい公社の令和4年度事業計画等に関する報告について	//	//	
第 32 号報告	まちづくり福井株式会社の令和3年度決算に関する報告について	//	//	
第 33 号報告	まちづくり福井株式会社の令和4年度事業計画に関する報告について	//	//	
第 34 号報告	公益財団法人福井市観光協会の令和3年度決算に関する報告について	//	//	
第 35 号報告	公益財団法人福井市観光協会の令和4年度事業計画等に関する報告について	//	//	
第 36 号報告	公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会の令和3年度決算に関する報告について	//	//	
第 37 号報告	公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会の令和4年度事業計画等に関する報告について	//	//	
第 38 号報告	令和3年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	9月21日	//	
市会案第17号	地方財政の充実・強化に関する意見書について	//	原案可決	

(9月定例会) 請願・陳情の審議結果				
請願・陳情番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
陳情第 14 号	地方財政の充実・強化に関する意見書採択について	9月21日	採択	

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成 反…反対
※原則議長(堀江廣海)は採決に加わりません。

会派名 議員名	審議 結果	一真会										新政会					市民クラブ			公明党		日本共産党		無所属									
		皆川 信正	見谷 喜代三	青木 幹雄	今村 辰和	堀江 廣海	八田 一以	福野 大輔	池上 優徳	水島 秀晃	寺島 恭也	榎原 光賀	岩佐 武彦	加藤 貞信	石丸 浜夫	野嶋 祐記	奥島 光晴	田中 義乃	藤田 諭	泉 和弥	伊藤 洋一	堀川 秀樹	玉村 正人	片矢 修一	村田 耕一	酒井 良樹	下畑 健一	菅生 敬一	津田 かおり	鈴木 正樹	山田 文葉	中村 綾菜	近藤 實
9月定例会																																	
第 39 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 43 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 46 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 48 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 49 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	反
第 52 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 53 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 55 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛

議長の動静(令和4年7月～9月)

7月4日	福井県市町総合事務組合臨時会
12日	日本海六県港湾市議会協議会総会(富山県)
21日	道路・河川要望活動(大阪府)
28日	重要要望活動(東京都)
8月5日	福井外環状道路の具体化に関する要望活動(東京都)
8日	北信越市議会議長会理事会(石川県)
9日	福井県市議会議長会定期総会
12日	福井坂井地区広域圏組合 組合議会(あわら市)
17日	福井県市議会議長会知事要望

9月定例会

8月29日	本会議
30日	議会運営委員会
9月5日	議員全員協議会、本会議(一般質問)
6日	本会議(一般質問)
7日	議員全員協議会、本会議(一般質問)
8日	総務委員会、建設委員会
9日	教育民生委員会、経済企業委員会
14日	予算特別委員会
15日	予算特別委員会
20日	議会運営委員会
21日	議員全員協議会、本会議

定例会外の議会日程(令和4年7月～9月)

8月1日	議会運営委員会
10日	福井の魅力発信対策特別委員会
22日	議員全員協議会、議会運営委員会

一般質問の録画映像を各議員ごとにスマートフォンやタブレット端末で見ることができます。

一般質問ページにおいて、各議員の顔写真欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレット端末から読み取ると、その議員の一般質問の動画が視聴できます。



編集後記

今号では、7月に実施した各常任委員会の市内視察報告の特集記事や、令和4年9月定例会で審議された内容の一部を掲載しています。

この定例会では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、一般質問や各常任委員会、予算特別委員会を通じ、複数の議員が欠席を余儀なくされました。新型コロナウイルス流行の波が、一日も早く収束することを願うばかりです。(玉村、片矢)

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

傍聴してみませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

傍聴をご希望される方へ

- ・感染状況によっては、傍聴数の制限をさせていただく場合があります。あらかじめホームページをご確認いただくか、下記までお問い合わせください。
- ・議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをお勧めします。

本会議

定員97人 うち車イス6席

常任委員会

総務、建設、教育民生、経済企業

議会運営委員会

特別委員会

福井の魅力発信対策、予算、決算

議員全員協議会

今回は
12月定例会
です

日程は
ホームページに
掲載します

福井市議会 日程

検索

市議会HPは
こちらから



お問い合わせ 議会事務局 庶務課

0776-20-5506